

リスク・機会のタイプ		顕在時期			発生可能性	財務影響度	財務インパクト	対応戦略	
タイプ	シナリオ分析結果	短	中	長					
物理的リスク	急性	台風等によってオークション会場等への被害が発生し、営業停止などが起こる。また、設備復旧への追加コスト等が発生する。損害保険料も増加する		●	●	低	中	台風被災(停電等)によりオークションが1開催休止となった場合で約2億円(名古屋会場)の売上減	BCP(事業継続計画)の定期的な見直し
	慢性	海面上昇に伴って洪水や高潮が増加し、沿岸部にあるオークション会場が被害を受けることで、オークション会場の建て替えや移転などの対応コストが発生する		●	●	低	大	海面上昇により沿岸部のオークション会場が移転する場合、50~100億円超規模の設備投資が新たに必要	ハザードマップ確認による浸水リスクの把握、避難訓練の拡充
		平均気温が上昇し、従業員の熱中症リスクが高まる		●	●	高	小	施設内の空調コストや熱中症対策コストが増加	災害に備えたデータ管理体制の確立

<顕在時期> 短期：5年以内 中期：5年~10年 長期：10年~30年超

<財務影響度> 小：1億円以内 中：1~50億円 大：50億円超

<発生可能性> 高：発生可能性が高い 中：50%程度 低：発生可能性が低い

<重大な影響の定義> 発生可能性が「高」かつ、財務影響度が中(1~50億円)または大(50億円超)